

## 神海丸便り 第1号

### 浜田出港

1月11日に神海丸の乗船実習が始まり、2週間の健康観察期間を終え、1月25日14:30神海丸は、浜田水産高等学校海洋技術科2年生22名、同校専攻科1年生9名、隠岐水産高等学校専攻科1年生11名の総員42名を乗せ浜田港を出港し、マグロ操業海域に向かいました。出港時には、新型コロナウイルス感染防止のため、本校関係者が岸壁から、実習生と乗組員、指導教官は、船から降りずに出港式が行われました。対岸から見送られた保護者の方々ありがとうございました。



実習生代表挨拶を行った海洋技術科2年Tさん

### 朝のラジオ体操

実習中の海況が時化ていないときには、毎朝6:30より点呼とラジオ体操を船の船首甲板で行います。今回の実習生は、寝坊する生徒がほとんどいないので、6:30の開始に遅れることなくラジオ体操をしました。



### 関門海峡を通過し 太平洋へ

1月25日の夜に下関六連島北に着き錨泊した神海丸は、26日9:30に錨を揚げ本州と九州との間にある関門海峡に向かいました。実習生は、航路の見学をするため船の最上にあるコンパスデッキに上がりました。関門海峡は、1日に多数の船舶が航行する日本有数の海上交通の難所であり、実習生達は一等航海士から関門海峡の航法について学びました。



専攻科生

本科生

最後に 定期的に神海丸便りにて実習生達の近況をお伝えしていきます。島根県のホームページからも「神海丸航海記録」にて現在の船の位置が分かりますのでご覧下さい。  
【教官T】